

ロボフローの施工と接着剤について

より適切に施工していただくために

下記の注意事項をよくお読みいただき、正確で安全な施工を心がけてください。適切な施工はフロアデザインをより美しく仕上げ、床に関するトラブルを最小限に抑えることができます。

施工上のご注意

1. 施工時の環境で大切なことは、温度・湿度と通風です。

● 温度についての材料と接着剤の注意点。

- ① 温度が低い → 材料は硬くなり、縮む。
・接着剤の粘度が高くなる。
- ② 温度が高い → 材料は柔らかくなり、伸びる。
・接着剤の粘度が低くなる。
・夏期高温時には、貼りつけ可能時間が短くなるので、注意をお願いします。
- ③ 温度の変化 → 材料が寸法変化を起こす。
(接着剤が、硬化する前にタイルの寸法変化が起こった場合は、突上げ、目地隙、目ズレ等のトラブルになります。)
・直射日光が、床面にあたらないように工夫して施工してください。

● 湿度と下地の注意点。

床材の仕上がりに大きな影響を与えるのが、下地からの湿気です。必ず乾燥状態を確認してから施工願います。施工環境が整わなかった場合、目地隙きや突上げ、膨れ、臭気などを招く場合があります。下地に過剰な水分があると、バック材の塩ビ樹脂に含まれる可塑剤が、接着剤層を通して下地のアルカリ成分と反応して、異臭を発生する場合があります。異臭の発生を防ぐため、プライマーを塗布することをお勧めします。

- ① 水分計を使用した湿度の確認。
→ 8%以下であれば、通常の施工が行えます。
- ② その他の方法。
→ ビニルシートをモルタル・コンクリート面に置き回りをテープなどで囲います。24時間後に、フィルムの内面に水滴がたまったり、下地が黒く変色した場合は、下地が未乾燥です。
- ③ 下地湿気が抜ける一般的な目安。
→ コンクリート・モルタル下地は、30日から40日以上乾燥期間が必要です。(注：環境条件により、違いが発生します。)

● 通風についての注意点。

通風が良いと、接着剤の硬化時間が短くなる場合があるので、注意が必要です。

- 2. 下地の平滑性、汚れ、表面強度、たわみ、段差、亀裂、粉ふき等は、仕上がりに大きく影響しますので、対策を取り対応した後に施工をお願いします。

- 3. ロボフローは、室温になじませてから施工を開始してください。
施工中は急激な環境変化のないようにしてください。

- 4. シートは立てて、タイルは水平の状態保管してください。

- 5. 商品を確認の上、施工を開始してください。
梱包ケース・ラベルに記載されている品名・色番・ロット・数量など。

- 6. シートは捻りに弱いので、取り扱いに注意してください。

- 7. タイルの接着剤は、ピールアップ接着剤(ピールアップ性に優れた、アクリル樹脂系エマルジョン形接着剤)をご使用ください。

- 8. シートの接着剤は下地によって選択願います。
一般的な使用では、アクリル系あるいはウレタン系の接着剤をご使用ください。

- 9. 施工後3日間ぐらいは、急激な温度変化や荷重負担を与えないよう、また水洗いなどはさげ、十分養生させてください。

- 10. タイルの施工はタイル裏面の矢印を確認の上、階段以外は市松貼りを基本とします。
目地隙に充分注意を払って施工してください。

- 11. デザイン貼りにおいて、小さいサイズを入れる場合は接着を充分行ってください。

※施工・接着剤等の詳細につきましては、弊社営業担当者にお問合せください。